



岩手県野田村の不燃系混合廃棄物の受入れについて

これまでの経緯

仙北市は、東日本大震災の災害支援について、被災地の岩手県に隣接する自治体として、市民の皆さんと一緒に、被災直後の緊急支援から現在の復興支援まで様々な取り組みを行ってきまされた。現地の復興の妨げとなっていない災害廃棄物の広域処理については、4回にわたる現地視察や市民、関係団体への説明会を開催するなど、受入れに関する意見の集約に努め、本年2月下旬に開催された市議会冒頭の市政報告の中で、秋田県と岩手県の協定に基づき、岩手県北部4カ町村の災害廃棄物について、不燃物に限定し受け入れる旨の表明を市長が行ったところです。

また、受入施設と考えている田沢湖一般廃棄物最終処理施設の周辺地域の皆さんにより「岩手県災害廃棄物受入れに係る向生保内地区連絡協議会」が設立され、ご理解とご協力を得ながら、受入れに向けての空間放射線量の測定や進入道路の改修などの環境整備を進めてきました。

可燃系廃棄物の処理が今年の6月下旬から本格的に始まりましたが、不燃系廃棄物については、県内での再生利用を優先し、国と岩手県との調整作業が続いていたところでした。

岩手県から要請が出される

こうした中で、岩手県では、不燃系廃棄物についても一定量の広域処理が不可欠と判断し、岩手県から環境省へ要請があったことから、10月26日、環境省から秋田県に対し、「野田村の不燃系混合廃棄物、約1万8000トンの受入れについて、正式に要請がありました。」

この受入要請を踏まえ、現在、秋田県と協議を進めていますが、今月中に岩手県と秋田県の業務委託契約が結ばれる予定になっています。その後、秋田県と仙北市の業務委託契約などの諸手続きが整い、野田村の不燃系混合廃棄物の受入処理が開始される見込みです。

12月上旬から受入れ予定

現段階での予定としては、本年12月上旬から平成25年12月下旬までを受入期間（ただし平成25年1月～3月の3カ月間は休止の予定）とし、土日および祝日などを除くおよそ210日間、約5200トンの受入れが可能と考えています。

受入れの対象となる不燃系の災害廃棄物は、可燃系廃棄物などを破碎・選別する過程でふり目から落ちた小さな木片、プラスチック片などが土と混じり合って再利用できない不燃系混合廃棄物で、岩手県では、放射性物質を始めとする有害物質などの計測を実施していますが、安全性について問題のない数値であることを確認しています。また、秋田県と仙北市でも計画に沿った事前調査や事後調査を実施することとしています。

このような状況を踏まえ、受入れ開始に先立ち、11月15日、野田村の現地で説明会を開催したところですが、本事業の工程や安全対策についての市民向け説明会を、田沢湖総合開発センターを会場に開催しますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

西木一般廃棄物最終処分場 搬入再開のお知らせ

西木一般廃棄物最終処分場の計量器改修工事を行っていましたが、このほど完了しました。11月13日から処分場への搬入を再開しています。工事期間中は市民の皆様には大変ご迷惑おかけしました。

岩手県野田村の不燃系混合廃棄物 受入れにあたっての説明会

【日時】 平成24年11月23日(金)10:00～正午
【場所】 田沢湖総合開発センター「大集会室」
【問合せ】 環境保全センター Tel (54)3305

SEMBOKU・CITY～YAMADA・TOWN

仙北市 → 山田町
派遣職員 トシの
岩手県山田町レポート
No. 3
山田町建設課 主任技師 田口俊彦

仙北市民の皆様、平成24年も11月になり、山々の紅葉が里へと色付きはじめ寒くなりつつある頃かと思いますがいかがお過ごしでしょうか。当然ながら、今秋は岩手県山田町で過ごしている自分ですが秋田に比べると暖かい11月だなあと感じております。

赴任してから早、11月となり師走の足音が聞こえつつありますが、山田町で自分が担当している地区の「防災集団移転促進事業」や「高台道路新設事業」などの事業説明会も終わりました。現在は移転事業を進める上で重要である個別の方々からの、現在被災し住めなくなった居住地から今後新しい移転居住先の団地希望地や要望などを聞き取る業務を進めております。



▲10月に行われた個別面談の様子（山田町役場）



◀町内の三陸沿岸道路建設予定地には目印が設置され始めました。（山田町船越地内）

10月29日月曜日に仙北市消防団（佐藤生治団長）から山田町消防団（菊地民雄団長）への新米贈呈がありました。

山田町消防団には昨年度も仙北市消防団から新米の贈呈があり、両市町消防団の交流を深めていると聞いております。山田町消防団では団員一同大変ありがたく頂いており、今後もこうした交流が消防団のみならず、いろいろな形で続いていければと思っております。



▲10月29日新米贈呈の様子。仙北市消防団長（左）から山田町消防団長（右）へ。

☆

前回、山田町の海産物について紹介しましたが、実は海産物のほかに山の幸も豊富です。ここ山田町は県下有数の「松茸・椎茸」の名産地です。先日、知り合いの方からの御厚意で生まれて数回しか食べたことのない「松茸」を美味しくいただきました。本当に地元の方々には感謝ですね。



▲山田町産の「松茸」この後は塩焼きに。

☆

これからの季節、仙北市ほどではない（冬は秋田以外で過ごしたことが無いので）ですが確実に寒くなります。自分も体調管理を万全にして冬に備えていきたいと思っております。

今後も随時、山田町レポートを市民の皆様にお知らせしますのでご愛読の程よろしくお願いたします。最後までお読みいただきありがとうございました。